

# 三井住友海上火災保険株式会社

## お客様概要

三井住友海上火災保険株式会社  
Mitsui Sumitomo Insurance Company, Limited

## MS&AD

### 三井住友海上

企業概要 (2018年3月31日現在)  
設立：1918年10月21日  
本社：東京都千代田区神田駿河台3-9  
資本金：1,395億9,552万円  
正味収入保険料：1兆5,003億円  
代表：取締役社長 原 典之  
従業員数：14,572名

#### 【導入製品・サービス】

Citrix Virtual Apps and Desktops  
Premium Edition  
(旧称：Citrix XenDesktop Platinum Edition)  
Citrix ADC (旧称：Citrix NetScaler)  
Citrix コンサルティングサービス  
Citrix テクニカルリレーションシップ  
マネージメント (TRM)



三井住友海上火災保険株式会社  
IT推進部 部長 (運用・インフラ担当)  
田中 誠司 氏



三井住友海上火災保険株式会社  
IT推進部 IT企画チーム課長代理  
松田 耕治 氏



“シトリックスによるPCのシンクライアント化は  
当社の働き方改革に大きく貢献しています”

三井住友海上火災保険株式会社 IT推進部 部長 田中 誠司 氏

## Citrix Virtual Apps and Desktopsによる シンクライアント化で働き方改革を加速 業務効率が向上、テレワークや在宅勤務も全社に浸透

### 導入前の課題

- 情報漏洩対策や広域災害時の危機管理対策等を強化したい
- PCの展開および運用に関わる負荷を軽減したい
- PCを社外に持ち出せるようにして、ワークスタイルを変革したい

### 導入後の効果

- シンクライアント化によりセキュリティを強固するとともに、広域災害時の迅速かつ柔軟な対応を実現
- 集中管理により運用コストを削減し、迅速なPCの展開を実現
- いつでもどこでも業務ができる環境を実現し、テレワークや在宅勤務など働き方改革を加速

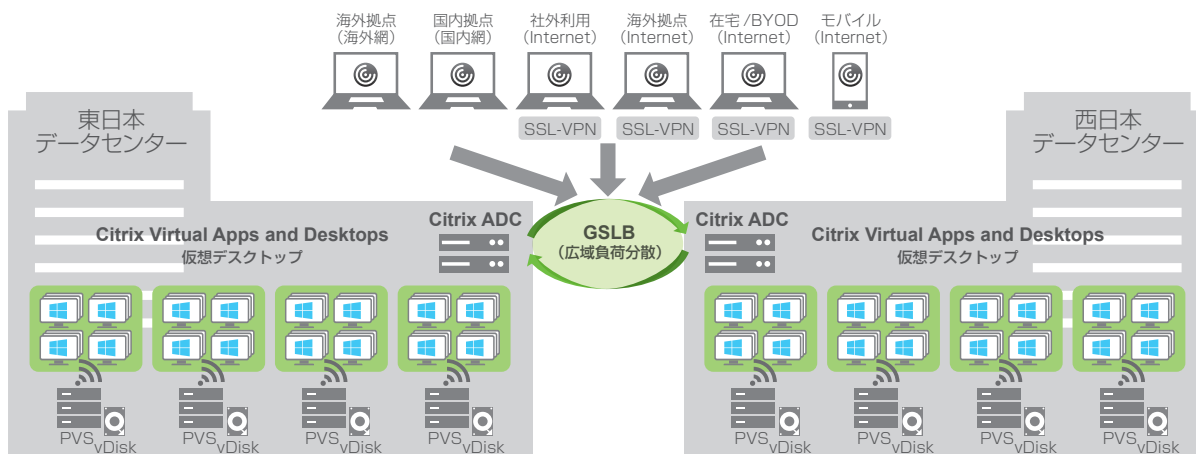
MS&ADインシュアランスグループの中核事業である損害保険事業を担う三井住友海上火災保険株式会社。2016年から働き方改革に取り組んでいる同社では、社員に支給しているPCの情報漏洩対策と運用負荷の軽減を見据えてシンクライアント化を検討。Citrix Virtual Apps and Desktops Premium Edition (旧称：Citrix XenDesktop Platinum Edition)を採用し、グループ会社を含む約2万6,000人が利用するための仮想PC環境を整備しました。この導入により、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が可能になり、在宅勤務などのテレワークが全社に浸透し、生産性も向上、同社の働き方改革は大きく前進しました。

### 課題

#### 情報漏洩対策の強化や運用コストの削減 働き方改革での活用を目指し シンクライアント化を検討

グループミッションである「世界トップ水準の保険・金融グループの創造」の実現に向け、グローバル規模で損害保険事業を展開する三井住友海上火災保険。国内損害保険事業・国内生命保険事業・金融サービス事業・リスク関連サービス事業・海外事業の5つの事業ドメインのもと、多様化している顧客のリスクとニーズに合わせた商品・サービスを提供。国内に485拠点を持ち、海外は42カ国・地域に進出と世界トップクラスのネットワークを保持しており、特にアジアではASEAN10カ

国すべてに拠点を持つ唯一の保険会社です。これまで同社はグループ会社含む社員に対し、1人1台のFAT PCを割り当て、5～6年のサイクルで更新してきました。しかし、同社が機密性の高い情報を扱うことの多い損害保険事業を主としている会社である以上、記憶媒体を搭載したFAT PCでは、情報漏洩のリスクが高く外部への持ち出しができません。持ち出し専用のPCも用意されていたものの、その数は少なく、全社員には行き渡っていませんでした。そのため、営業担当や損害査定担当は、外出先から会社に戻ってメールや書類作成などの処理を行っており、業務の効率を下げる要因となっていました。こうした課題を解決するため同社では、PC全体の約7割(2万3,000台)が入れ替えとなる2016年に向けて、2013年からシンクライアント化の検討を開始し



ました。そのねらいについてIT推進部 部長の田中誠司氏は「情報漏洩対策や事業継続への対応に加え、運用にかかるコストの削減を目指しました。また、当時は今ほど注目されてはいなかった働き方改革にも活用したいという期待もありました」と語ります。

## ソリューション

### 金融機関での導入実績と 大規模運用のノウハウを評価し Citrix Virtual Apps and Desktopsを採用

三井住友海上火災保険では、2013年7月からシトリックスのコンサルティングサービスを利用し、既存の環境についてのアセスメントを約1年間かけて実施しました。その過程で仮想デスクトップ方式 (VDI) とアプリケーション仮想化方式 (SBC) を比較し、業務アプリケーションとの親和性を考慮してVDI方式を選択。その後、2社のVDIソリューションの検証環境を構築し評価した結果、シトリックスの採用を決定しました。「性能面では両製品とも要件を満たしていましたが、シトリックスは金融機関での導入実績が豊富で、大規模運用のノウハウも蓄積されていました。また、狭帯域・高遅延な環境にも対応できるシトリックスが優れていました」(田中氏)

2015年3月からスタートした導入プロジェクトには、要件の漏れがないよう営業企画、保険金支払、人事・総務など主要ユーザー部門のスタッフも参加。また、シトリックスのコンサルティングチームも加わり、基盤・運用設計などの面で支援を行いました。当時についてIT推進部 IT企画チーム 課長代理の松田耕治氏は、「動画再生におけるチューニング方法やタッチパネル対応PCの動作改善等について、迅速で適切なアドバイスをいただきました」と振り返ります。構築の過程では、シンクライアントPC上で稼働する業務システムが多いため、アプリケーションの改修やテストに時間をかけ、最終的にFAT PCの

利用はVDI環境での利用に向かない一部のシステムを利用する場合に限定することができました。2016年10月にはVDI基盤の本格稼働を開始。これに先立ち、2016年6月から約1,000人のパイロットユーザーにシンクライアントPCを配布して運用面などをチェック。さまざまな課題を抽出し、これらの問題点を事前に解消することで円滑な展開を実現しました。

## 導入効果

### テレワークや在宅勤務制度が 全社に浸透し 働き方改革が一気に加速

三井住友海上火災保険がシンクライアント化を実現したことで、情報漏洩対策の強化や事業継続への対応、運用コスト削減などが実現したことはもとより、同社が進めている働き方改革の面でも大きな成果がもたらされました。セキュリティが強化されたことで、社員がPCを外部に持ち出すことができるようになり、テレワークなど時間や場所を選ばず柔軟に働ける環境が実現したのです。

いつでもどこでも業務を行えるようになったことで、外出した社員がわざわざ会社へ戻る必要もなくなり、業務効率は大幅に向上しました。さらに同社は、会議の完全ペーパーレス化を決定。全国300拠点に無線LANを導入し、ペーパーレスに取り組みやすい環境を整備しました。その結果、社内の打ち合わせでも紙の資料を持ち歩くことが減ったといえます。こうした取り組みが評価され、同社は総務省が主催する2017年度「テレワーク先駆者百選」に選定されました。また同社は、2016年10月に在宅勤務制度の見直しを行い、基幹系の全社員が原則として週2日まで、業務に支障がなければ週3日以上在宅勤務できるようにしました。2017年4月には「遅くとも原則19時前の退社」ルールを導入し、こちらも広く浸透させています。さらに2018年4月からはワークシェ

アリング制度を導入し、育児休暇中の社員が空いた時間に在宅で働けるしきみを設けました。「育児や介護との両立のため、今では多くの社員が在宅勤務を実施しています。社員からの評判もよく、『時間が有効に使える』『通勤時の負担が軽くなった』といった声が届いています」(松田氏) また、シンクライアント化は、損害保険会社としての社会的使命を果たすうえで大きな武器となっています。今年(平成30年)7月豪雨、大阪北部地震、台風21号、北海道胆振東部地震など立て続けに大きな自然災害が発生しましたが、同社では被災された皆様に一日でも早く保険金をお支払いするため、通常は事故受付業務に携わっていない社員も現場に支援に駆け付け全社を挙げて対応しています。これまではその要員が使用するPCのセットアップ作業や現場配備などに数日要していたためタイムラグが発生していましたが、シンクライアントPCでは、日常使用しているPCを持ち込むことで直ちに支援が可能となり、被災・事故受付から保険金支払いまでの時間短縮に寄与できていると考えています。

## 今後のプラン

### Windows 10対応および Office 365の導入を検討

三井住友海上火災保険では今後、Windows 7のサポート終了に伴い、Citrix Virtual Apps and Desktopsを活用しWindows 10対応を行っていきます。これと併せてグループでの横展開も計画中で、グループシナジーを高めていく予定です。Office 365などの導入も検討中で、シトリックスとマイクロソフトのシナジーを活かし、シンクライアントPCから利用する環境の構築も進めています。田中氏は「これからもソフト・ハードの両面で環境の整備を進め、さらなる働き方改革の推進に貢献していきます」と語っています。



シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社  
<https://www.citrix.co.jp/>

©2018 Citrix Systems, Inc. All rights reserved.  
 Citrix®, Citrixロゴおよびその他のマークは、Citrix Systems, Inc. および/またはその一つもしくは複数の子会社の商標であり、米国の特許商標庁および他の国において登録されている場合があります。その他の社名、商品名はそれぞれの所有者の登録商標または商標です。

2018年11月現在  
 CSJ/MS&A/D/1811/1000